

タイトル	日本におけるインバウンド消費		
所属	南山大学アジア学科張ゼミ	氏名	林詠子

○インバウンド消費とは？

→海外から訪れる外国人によって生み出された消費のこと。

○背景

・2019年の訪日外国人旅行者数は3,188万人、訪日外国人旅行消費額は4兆8,135億円と推計されるなど、日本経済に大きな影響を与えている。

・2016年時点での日本政府の目標として、2030年の訪日外国人旅行者数に6000万人という数字が掲げられるなど、国全体を挙げてのインバウンド市場拡大が目指されている。

・近年では、買い物代などの「モノ消費」から宿泊代などの「コト消費」へ移行している。

○研究内容

・インバウンド消費拡大の変遷。

・中国人観光客の“爆買い”という行動は、どのような経緯で生まれ、インバウンド市場にどのような影響をもたらしたのか。

→ここ数年で爆買い行動が見られなくなったのはなぜ？

→爆買いに代わるような消費行動はあるのか？

・コロナウイルスによるインバウンド消費への影響。

→特にセントレアを含む常滑市での影響。

○目的

・現在の日本経済におけるインバウンド市場の位置づけ・今後の展開についての考察。

・訪日外国人旅行者の消費行動に基づき、世界の視点からの日本という国の見え方を探る。

○研究方法

・先行研究・論文・書籍・資料などから調査する。

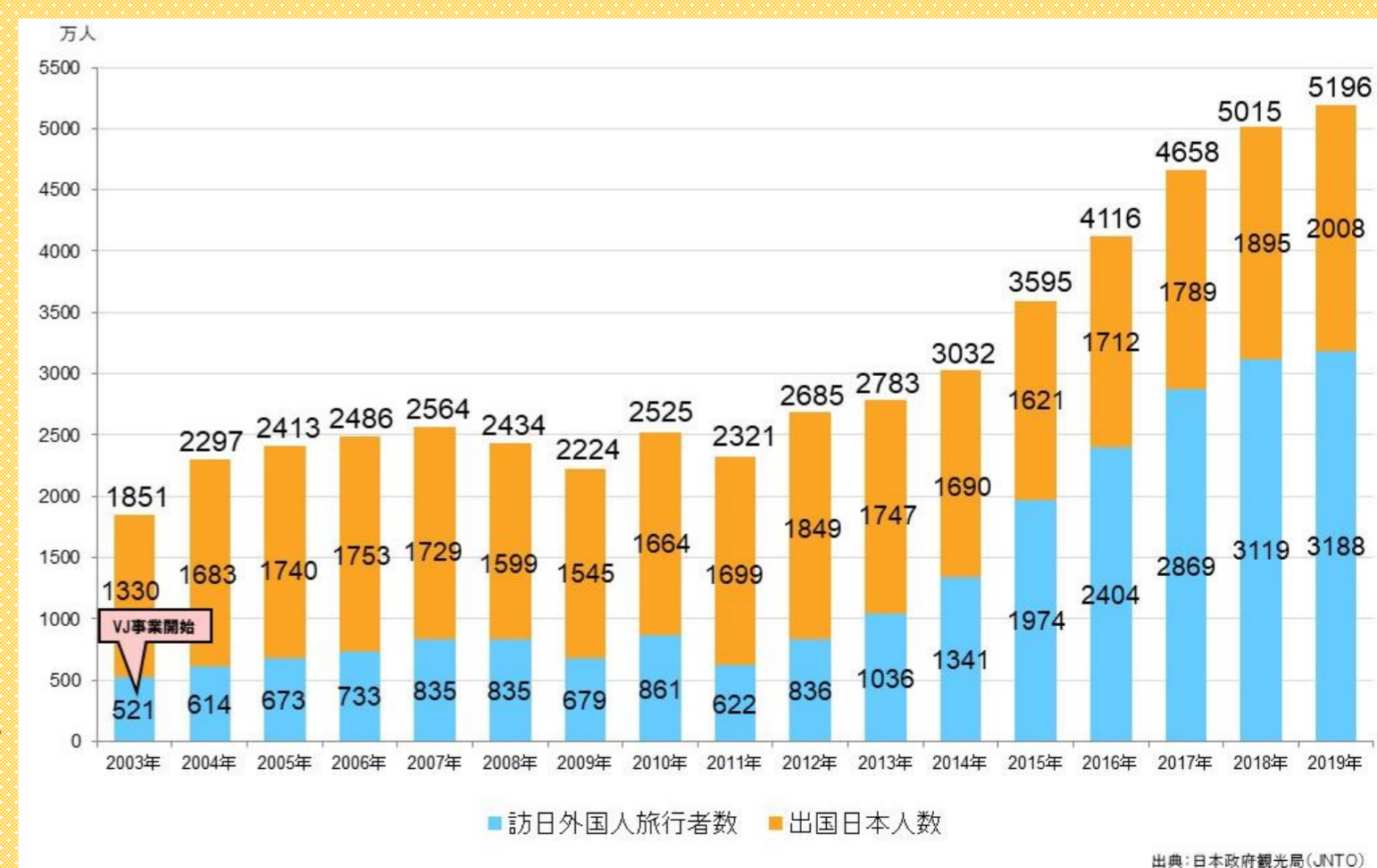
→（例）観光庁の訪日外国人旅行者に関する資料を分析する。

・セントレアや常滑市観光協会に直接話を聞きに行く。

○参考

・国土交通省観光庁統計情報・白書。[統計情報 | 統計情報・白書 | 観光庁 \(mlit.go.jp\)](https://www.mlit.go.jp/statistics/statisticsindex_top.html)。

・SMBC日興証券>初めてでもわかりやすい用語集>インバウンド消費。[インバウンド消費 | 初めてでもわかりやすい用語集 | SMBC日興証券 \(smbcnikko.co.jp\)](https://www.smbcnikko.co.jp/wordbook/infocenter/infocenter01.html)。



出典：観光庁「訪日外国人旅行者数・出国日本人数の推移」